

深よみめんこちゃん

いす組

やっつけろ!



「とんとんとん、何の音？」や豆まきごっこなどを、保育者を介して周りの子どもとイメージを共有して遊べるようになってきたりす組。絵本を見たり、繰り返し遊んだりする中で怖がることなく全員で楽しめるようになってきた。「おには～そと～」と言いながら、新聞紙で作った豆を投げる、自分で作った鬼のお面を被りたがる、体で鬼を表現して鬼役もやってみるなど、子ども達の様々な姿が見られるようになった。

また、保育者が鬼の角を付けると新聞紙豆を投げってくるが、角を外すと保育者に投げるのを止めて、壁の鬼のイラストに向かって投げている。また保育者が付けると投げてきて...の繰り返しを楽しんでおり、子ども達の観察(見取る)力に驚いた場面だった。

こんなふうにそだってほしいなあ・・・

イメージを共有しながら保育者や周りの子どもと一緒に遊ぶ楽しさを味わってほしいな。

この遊びから育つもの

- ・想像力・表現力
- ・指先の力
- ・コントロール
- ・イメージの共有

今日はどうなってる?



前回遊んだときにブルーシートの上に氷を保管していたMちゃんとAちゃん。

久しぶりに園庭に出て覗いてみると、大きな塊が出来ていること驚いていた。保育士に手伝ってもらいそっと氷を運んで2人で氷を眺め、氷に出来た模様や気泡など、自分が気が付いた事を話していた。

氷が溶けて水になり、また凍って一枚の氷ができた事について・・・



「魔女が魔法を使ったから大きな氷になったんじゃない？」

「この模様は何かしら？」



と物語の方向に話が進んでいった。

こんなふうにそだってほしいなあ・・・

自分達で疑問に思ったことを絵本や図鑑を使うなどして調べ、周りの友達にも知らせ、情報を共有して遊びが広がってほしいな。

豊かな感情や好奇心を育み、どうしてこうなったのだろうと思いを巡らせ思考力を働かせてほしいな。

自然に触れる機会を多くし、子どもなりにその美しさや不思議さなどを全身で感じる体験を持つようにすることが大切で、子どもの何気ない生活場面で心の揺れ動きや、子どもの自然との出会いを見逃さないようにしていきたい。

この遊びから育つもの

- ・想像力
- ・探求心
- ・自然の不思議さや
おもしろさ